



議会だより

Vol. 40
2024年3月



議長挨拶	P2
議会報告	P3
9月議会定例会報告	P4～P5
12月議会定例会報告	P6～P7
常任委員会の報告	P8～P9
一般質問	P10～P21
研修会の報告	P22
インタビュー記事	P23
議会の動き・議長公務日誌	P24

【発行】和歌山県串本町議会 〒649-3592 和歌山県東牟婁郡串本町サンコ台690番地5
【編集】議会広報広聴特別委員会 串本町役場 TEL.0735-67-7261

ジュニア駅伝 選手の皆さん

町民の皆さまへ

～共に進めるまちづくり～



令和6年1月の「能登半島地震」で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、早期の復旧をお祈り申し上げます。

私たちが住む地域も、「南海トラフ地震」がいつ起きてもおかしくない、決して他人ごとではない地域です。

道路の寸断、液状化現象等で、救助や支援、ライフラインの復旧がスムーズにいかないと覚悟するべきと考えます。想定外の事態に対応する、「災害時の行動準備と確認」をしておくことが改めて大切である、と痛切に感じました。

－地震に対する日常の備え－

大地震のとき、家族があわてずに行動できるよう、普段から次のようなことを話し合い、昼の場合、夜の場合それぞれにおいて分担をはっきり決めておきましょう。

●家の中でどこが一番安全か ●救急医療品や火気などの点検 ●幼児や老人の避難はだれが責任を持つか ●避難するとき、誰が何を持ち出すか、非常持出袋はどこに置くか ●避難場所、避難路はどこにあるか ●家族間の連絡方法と最終的に落ち合う場所はどこにするか

(申本町HP 総務課 防災・防犯グループページより)

さて、2月7日、区長会の皆さまを対象とした「議会報告会」を開催しました。

今、町民の皆さまに「議会」や「議員」についてお聞きすると、「議会」そのものや「議員」が何をやっていて、どんな役割なのかわからない、仕事していないのではないかと、等のご意見を聞きます。議会の役割は、自然災害対策や、人口減少・少子高齢者対策、教育・福祉の充実などの課題に対して、「安心して暮らせる環境整備」を進めていくことにあると認識しています。また、申本町の「将来の在り方」も考えていく立場にあると考えます。

「議会報告会」は次年度も、開催する予定です。町民の皆さま方のご意見等お聞きする機会にしていきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

申本町議会議長 鈴木 幸夫

《各委員会のメンバー紹介》

	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	氏名	北地 稔	長脊 守	沼谷 美次	橋爪 和雄	仲江 孝丸	角 寛	吉村聡一郎	五十川清紀	芝山 定史	水口 崇	鈴木 幸夫	清水健太郎	島野 靖
常任	総務産建		○				☆		○		○	※	○	★
	文教厚生	☆		○	○	○		★		○		※		
特別	議会運営			○		○	☆	○	★	○		※		○
	広報広聴				○	☆	○	★	○			※		○
	議員定数	☆				○	★	○	○			※		○
	決算審査				☆	★	○	○	○			※		○
一部事務組合	懲罰	☆		○	○		○	○	○	★	○	※		○
	後期広域							○						
	紀南環境	○						○						
	衛生組合			○		○		○		○			○	○

★委員長 ☆副委員長 ※議長は一部事務組合以外の全ての委員会に出席

初めての議会報告会を開催

議会基本条例が制定され開催義務が課せられて3年。コロナ禍による延期もありましたが、初めての議会報告会が2月7日、旧古座分庁舎で開催されました。議会基本条例第5条7項には「全議員出席のもと町民若しくは町民の代表に対する議会報告会又は懇談会を年1回以上開催し、議会の説明責任を果たすとともに、町民の意見を聴取して議会の活性化にいかすものとする。」と定められています。今回は地区住民の代表である区長連合会を対象に開かれました。

議事次第

1. 開会
2. 開会あいさつ
3. 議会報告
 - ①串本町議会基本条例について
 - ②令和5年第4回（12月）定例会
 - ③文教厚生常任委員会
 - ④総務産業建設常任委員会
 - ⑤議員定数特別委員会
4. 意見交換
5. 閉会挨拶
6. 閉会



冒頭司会者からは「要望を聞く会ではなく、議会による町政報告を行い、意見を交わす場である」旨報告がありましたが、参加した区長の皆さんは、要望を聞いてくれることを期待して参加された方が多かったようです。

町政全般における意見交換が目的なら議会基本条例第18条「議会は、町政の諸課題に柔軟に対処するため、町政全般にわたって、議員及び町民団体が自由に情報及び意見交換をする一般会議を設置するものとする。」が目的にかなった会議になります。

いずれにせよ、今回は第1歩を踏み出した会議です。議会基本条例が定着し、議会改革が進むように着実に進めてまいりますので、ご理解のほどをお願いします。



第3回定例会 (9月)

第3回定例会 (9/6~22)	
報 告	4件
人 事	2件
条 例	1件
補正予算	6件
決算認定	16件
そ の 他	2件
請 願	1件
発 議	2件

9月議会は、梅雨前線豪雨による 林道復旧工事費などを可決

一般会計補正予算を可決

一般会計補正予算額 2億4,577万円

歳入歳出予算総額は、111億3,857万円となり、前年度同月より約2億8,400万円の減少となっています。

■ 総 務 費	津荷地内法面落石防護工事 ……………	570万円
■ 民 生 費	潮岬学童保育所新築工事設計業務委託料 ……………	920万円
■ 衛 生 費	火葬場建設事業基本計画策定業務委託料 ……………	440万円
■ 土 木 費	サンゴ台中央線交差点改良工事 ……………	1,100万円
■ 災害復旧費	林道上野山佐部線災害復旧工事 ……………	1,359万円
	林道神野川高瀬線災害復旧工事 ……………	712万円
	林道古田線災害復旧工事 ……………	531万円

決算審査特別委員会が設置される

令和4年度の決算審査について、令和5年9月7日に特別委員会が設置され、令和5年10月17日から19日と23日、25日の5日間開催し審査を行いました。



委員長 仲江孝丸
副委員長 橋爪和雄
委員 五十川清紀 島野 靖 吉村聡一郎 角 寛

健全化判断基準(比率)について

地方公共団体の「財政破綻を未然に防止」することを目的として制定された制度です。平成19年度の決算より全国統一の基準で健全化判断基準を算定し、公表するよう総務省から通達がありました。

実質公債費比率が、35%以上で、「一般公共事業債」が、25%以上では、「一般単独事業債」の発行が制限されます。また、18%以上では、地方債を発行するのに総務省の許可が必要となります。

全国で令和4年度決算において、実質公債費比率35%を上回る再生団体は、夕張市(67.4%)のみです。当町令和4年度決算での実質公債費比率は10.9%、将来負担比率が70.7%と県内市町村平均値(下記参照)を上回っていますが、改善傾向にあります。

令和4年度決算財政健全化指標(近隣市町村別)

	実質公債費比率(%)			将来負担比率(%)		
	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
串本町	10.9	11.2	11.0	70.7	78.6	84.8
古座川町	5.4	5.7	5.9	—	—	—
那智勝浦町	8.0	7.8	7.6	21.1	26.7	26.9
太地町	7.5	5.9	5.1	19.5	17.2	13.9
北山村	7.6	6.3	5.9	—	—	—
新宮市	12.5	13.3	13.5	—	15.8	28.7
すさみ町	8.8	8.0	7.3	—	—	—
白浜町	8.3	8.8	9.1	37.0	46.5	45.8
上富田町	12.3	13.1	14.1	22.1	15.2	59.5
県内市町村平均値	9.0	9.1	9.6	23.4	33.4	46.6
全国市町村平均値	5.5	5.5	5.7	8.8	15.4	24.9

※総務省地方財政主要指標に基づいて作成。

作成者 角 寛

- * 実質公債費比率とは、町債(借入金)の返済額などを指標化したものです。
- * 将来負担比率とは、現時点での借入金などに対して、将来財政を圧迫する度合を示すものです。
- * 早期健全化基準とは、上記図表の実質公債費比率が25%、将来負担比率が350%どちらかを超えると「早期健全化計画」の策定が義務付けられます。
- * 将来負担比率が、一となっているのは、将来負担を上回る基金などが確保されていることを示しています。
- * 財政再生基準とは、実質公債費比率35%を超えると「財政再生計画」の策定と町債(借入金)を発行するには、総務大臣の許可が必要となります。



第4回定例会
(12月)

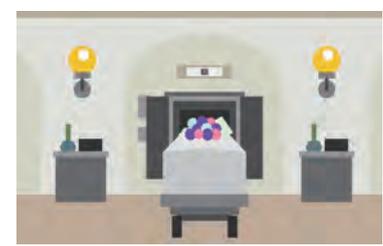
第4回定例会 (12/1~15)	
報 告	3件
条 例	11件
補正予算	10件
決算の認定 (継続審査分)	16件
そ の 他	6件
発 議	1件

一般会計補正予算5億8,477万円の追加を可決 歳入歳出予算の総額は117億2,333万円

一般会計補正予算（第9号）を可決

一般会計補正予算額 2億4,783万円

- 火葬場建設基本計画策定業務委託料 等



一般会計補正予算（第10号）を可決

一般会計補正予算額 3億3,693万円

- 串本町生活支援商品券（第7弾）交付事業
- 人事院勧告に伴う職員人件費 等



感謝状の贈呈

地方議会議員として通算35年以上在職した方に「総務大臣感謝状」が贈られます。

今年度は、和歌山県町村議会議員として仲江孝丸議員が受賞されました。



令和4年度串本町一般会計及び特別会計 歳入歳出決算を認定

決算審査特別委員長より審査結果の報告が行われ、報告のとおり令和4年度の決算を認定しました。

地方自治法第98条に基づく書面審査

- 1 磯根漁場再生事業に関する事項
- 2 各財産区に関する事項
- 3 ふるさと納税に関する事項
- 4 串本の水、なんたん水に関する事項
- 5 古座川火葬場の費用負担に関する事項

町長への総括質疑

- 1 適正な財産管理について、各財産区でもう一度協議されたい。
潮岬財産区の潮岬連合区長への貸し出しについて町の見解を求める。
- 2 磯根再生事業は令和4年度から方式を変えたが費用対効果が見られないので、続けるのであれば同じことを繰り返すのではなく方式を工夫されたい。
- 3 職員の研修に関して、予算増額を含め今後の改善について示されたい。
- 4 住民に対して、財政運営に関する分かりやすい公開をするための改善を行われたい。
- 5 ふるさと納税に関する体験型メニューの返礼品を増やす努力が必要ではないか。

懲罰特別委員会審査報告

仲江議員からの、清水議員に対する処分要求について、懲罰特別委員会委員長から懲罰を科さないとの報告があり、本会議での採決の結果、委員長報告に対する賛成者多数で懲罰を科さないこととなりました。

「2件の個人情報漏洩に関する再発防止の為の調査に関する動議」が提出されました

提出者：清水議員 賛成者：水口議員

採 決 結 果												
北地	長脊	沼谷	橋爪	仲江	角	吉村	五十川	芝山	水口	鈴木	清水	島野
×	×	×	×	×	×	×	—	×	○	※	○	×

賛成2人 反対9人で否決されました。

総務産業建設常任委員会

1月11日に、旧古座分庁舎をリノベーションした宇宙ふれあいホール Sorai Miru を視察しました。



旧古座分庁舎で現在改修中の「Sorai Miru」は、宇宙やロケットに関する教育・観光施設で、ロケットの打ち上げ映像を上映するシアターやコワーキングスペースなどが既に完成しており、今回は1階の「ロケットミュージアム」と「図書スペース」を見学しました。

令和6年8月オープン予定となっており、入場料は有料となる見込みです。（図書スペースは無料）



委員会開催日程と主な内容

- ① 9月6日
決算審査特別委員会委員について
- ② 9月21日
請願第1号 仲江議員の虚偽個人情報入手及び、取得先虚言・隠蔽について議会として誠実な対応を求める請願
- ③ 12月1日
串本IC周辺整備の状況について

総務産業建設常任委員会の所管事項

- ・ 行政一般
- ・ 消防
- ・ 建設
- ・ 都市計画
- ・ 産業経済
- ・ 財政
- ・ 防災
- ・ 水道
- ・ 其他の委員会に属しない事項

我々委員会は、これらの視察で得た事を、必ず町のために活かします！

文教厚生常任委員会

町内施設の視察



9月5日に串本町リサイクルセンター、宝嶋クリーンセンター、串本・古座火葬場を視察しました。ごみ処理の現状と火葬場の状態を確認し、ごみ分別と火葬場の早期新設の重要性を肌で感じました。

文教厚生常任委員会の所管事項

- ・ 教育一般
- ・ 社会福祉
- ・ 環境衛生
- ・ 国民健康保険
- ・ 介護保険
- ・ 病院に関する事項

県外視察研修



近畿大学奈良病院



御所市火葬場



淡路市学童保育所



西宮市学童保育所



こどもの本の森神戸

11月20日～23日で、奈良県、兵庫県、兵庫県の火葬場や学童保育の視察研修を行ってきました。目的は両施設新設が計画されている中で、県外先進地を視察し、当委員会で調査研究を行った上で執行部に提言することです。更に、この視察では継続調査になっている図書館、病院・医療施設についても知見を広げることができました。

一 般
質 問

町民の言葉とおもいを届けます

一般質問は、議員が事前に提出した通告書に基づいて提案や質問を行うもので、持ち時間は90分。なお記事の内容は、質問者の責任において議員自らが作成したものである。



ページ	見出し	質問議員
11	災害時の防災対策として火葬場の進捗状況は	北地 稔
12	災害時の備蓄やライフラインと公民館の整備	長脊 守
13	若手教員のスキルアップについて	沼谷 美次
14	一日でも早い火葬場建設	橋爪 和雄
15	健康保険証廃止に伴う混乱をさけるために	仲江 孝丸
16	弾力的持続可能な財政基盤を維持するために	角 寛
17	コミュニティバスの未来像は	吉村 聡一郎
18	子育て支援策として給食無償化を問う	五十川 清紀
19	社会変化を把握した行政の取組みを！	芝山 定史
20	子育て世代の負担軽減で教育投資	水口 崇
21	古座川には新橋は必要ないのでは	清水 健太郎

各議員のページにある二次元コードを読み取ることで、その時の一般質問の動画映像を視聴いただけます。



災害時の防災対策として 火葬場の進捗状況は

住民課長 基本計画に向け予算を確保



北地 稔



12月議会

●12月議会

防災対策について

質問 災害時の防災対策として、新火葬場の進捗状況及び古座川町との協定について。

答弁（住民課長） 9月議会補正で基本計画、12月で都市計画決定に係る計画を策定、県の承認取得を進めている。今は計画予算が出来た段階である。
答弁（副町長） 古座川町と契約をしている件について先日話をさせて頂いた。

て、串本町の新火葬場ができるまで現在の契約を継続させて頂くことで了解を頂いている。

質問 緊急消防援助隊近畿ブロック訓練も和歌山県で行われたが、今回の訓練の規模と串本町消防本部はどのような体制で緊急消防援助隊近畿ブロック訓練に参加したのか。

答弁（消防長） 近畿2府4県に、三重県、福井県、徳島県が参加し関係団体60機関で約1200人が参加した大規模な訓練であった。
串本消防は、崩落現場で傷病者多数との想定で田辺市消防本部と連携して約4時間にわたり救出・救助訓練を実施した。今後も大規模な訓練に

参加し経験を積むと同時に連携訓練を重ね結束力を一層強化し巨大地震等の災害時には一人でも多くの方々を救助するため努力したいと思う。



学校施設環境について

質問 町立学校グラウンドの芝生管理や草刈りは、各学校の教職員の仕事ではないと思う。生徒と接する時間も少なくなる。

今は昔と違い予算措置をして専門職に委託を考える時期に来ている。

答弁（教育次長） 昨年度から少し外部委託できるように予算取りもしている。学校側とも協議し教員の負担も減らす対策はしっかり講じていきたいと考えている。

質問 土の少ないグラウンドが見受けられる。ケガをする確率が高くなると思うが土の補充はしているか。

答弁（教育次長） この数年補充は行っていないので確認をすると、かなり土がやせている状況であり補充が必要。来年度予算で調整し計上させて頂きたいと思っている。

災害時の備蓄やライフラインと公民館の整備

教育次長 各公民館のバリアフリー化は検討していく



長 脊 守



9月議会



12月議会

● 9月議会
● 12月議会

質問 台風に伴う通行止めや携帯電話の通信障害

や停電と断水についての対応について尋ねる。

答弁 (町長) 携帯電話会社には、基地局に大きなバッテリーの設置と移動基地の要望。

答弁 (総務課長) 電力会社には、被害が予想される地域に対して復旧作業員と電話対応の職員を増員を町長から要望している。

答弁 (水道課長) 田並地区の断水については、短間に何回も停電が繰り返し異常を感知し配電盤が安全のため止まったと思う。配電盤は今年度取替え予定。

質問 避難所における暑さ対策と越波対策の現状について尋ねる。

答弁 (総務課長) 停電に対する発電機、蓄電池を事前に準備し、万一停電時には、送風機・扇風機を動かせる体制。

答弁 (建設課長) 平成30年の台風24号後、調査対象箇所を串本町全域6つにわけて調査。要望箇所は、和深から田原の国道沿岸部分。

答弁 (町長) いつ来るかわからない台風の中で地

域の方々が大変不便をしているのは十分理解している。地元選出の国会議員の先生方や国土交通省に必ず陳情。

質問 災害時の段ボールベットや簡易トイレ数や寒さ対策について尋ねる。

答弁 (総務課長) 段ボールベットについては、200基、簡易トイレについては、176基と追加で50基予定。携帯トイレやカイロを含め、各地区や家庭で備蓄対策について引き続き周知。

質問 各支館・分館の老朽化対応と、トイレ等のバリアフリー化や車椅子用スロープの設置や講座の講師謝金改定と町外からの講師旅費について尋ねる。

答弁 (教育次長) 各支館の施設についてはメンテナンス、ケアを行い使用。各支館のトイレの洋式化は、順次、計画的に洋式化の予定。玄関付近のバリアフリー化は、今後検討。講師謝金は、近隣市町と比較して、低価でなく当面は現状でお願いしたい。遠方からの講師については、費用弁償も検討は必要。



(その他) 夜間の避難訓練とベット同行避難について尋ねる。

若手教員のスキルアップについて

教育長 串本町の取組みを充実させていく



沼谷美次



9月議会

● 9月議会

学校教育について

質問 教育長は若手教員のスキルアップを目標に令和2年度から取り組んでくれていることに、本当に有難く思っています。そこで、正規の先生と講師先生は同じ管理下でやっていますか。

答弁 (教育長) 串本町のように、町単位で研修をやっているのは県下でも串本町だけです。いわゆる串本町として講師でも正規の先生でも同じよう

にスキルアップを図って、良き先生になってほしいので、これからも声かけ等進めていきたいです。

質問 夏休み明けの自殺予防や不登校の予防に対する取り組みについて、教師と児童・生徒の信頼関係を築くのに良いと思われるものの中に、遊びが良いと思えますが。



答弁 (教育長) すごく大事なことだと思えます。特に小学校の場合には、子どもと遊んでいる先生は子供に好かれ、日頃か

らそういう事を重ねていくことがすごく大事だと思います。

学童保育について

質問 指導員の仕事の中に、施設内で生活と遊びの場には児童の見守りを、初め一緒に学習や運動と、児童の自主性や社会性を向上させ、基本的な生活習慣の確立と健全な育成を目標としているとあります。各学童保育所に教職員の有資格者などおられるのが望ましいと思いますが、各施設の状況は。

答弁 (子ども未来課長) 正確な数字は把握していませんが、一番多いのは保育士の方が多く、人材不足ということですが、放課後児童育成事業に2年間従事されて支援員に

なられる方が多いと聞いています。

災害時の備えについて

質問 災害廃棄物は家庭ごみと同じ一般廃棄物と区分され、廃棄物処理法に基づき市区町村が処理するとあります。町として、処理にあたってはどのような対策を考えているのでしょうか。

答弁 (住民課長) 災害時の受入に、以前から便乗ごみの廃棄が問題となっており、被害を受けていない方がリサイクル家電などの粗大ごみを投棄されるというところで処分費用が余計にかかります。串本町民に対し意識の向上に向け、啓発を続けてまいります。いりたいと考えています。

一日でも早い火葬場建設

住民課長 一日でも早く作業短縮を図りたい



橋爪和雄



9月議会

●9月議会

火葬場問題は緊急対策を要する施設

質問 火葬場問題は緊急に対策を要する施設である。一日でも早く稼働できる、作業短縮について。
答弁 (住民課長) 少しでも、一日でも早く作業短縮が図れるように進めたい。

質問 メンテナンスのこなど考えた新火葬場の規模について。
答弁 (住民課長) 基本計画の策定の中で、串本町の火葬場の需要予測、人

口推移、死亡者数、建物面積等について検討していきたい。レンガは積み替えしなければならぬので、セラミック型が推奨されている。炉の数、炉の構造、建物規模など、関係課、関係者の方々と協議していきたい。



旧西向保育所の今後の利用について

質問 旧西向保育所は、娘3人がお世話になった草を刈ったり、木の剪定

をした思い出の保育所ですが、取り壊して新たに有効利用できないか。町の考えについて。

答弁 (企画課長) 建物自体はかなり老朽化が進んでいる。建物の再利用は困難である。

質問 取り壊して新たに有効利用するための補助金がないか。

答弁 (企画課長) 国・県の補助金で空き家対策の補助金になるかと思う。今後吟味していきたい。

質問 旧古座分庁舎は、宇宙ふれあいホールSolar・Miruのお客様がバスで来られる。駐車場に利用できないか。ロケット関連のモニュメントを置いてミニ遊園地を作り、町のイメージづくりに役立てることができないか。

答弁 (企画課長) 旧古座

分庁舎の前に大型バス2台も入ると、他の車両が入らない。臨時駐車場に使うのは今最有力の再利用の方法である。せっかく再利用するのであれば、地域の皆様に喜ばれる方法を検討していきたい。

古座地域の土砂災害対応について

質問 古座下から古座上までの被害が起こる前に急斜面の調査について。

答弁 (建設課長) 県の方へ連絡して同行して確認している。

質問 前にも質問した、古座消防署の裏山の斜面は危険な場所である。その地域に避難場所がない。旧古座川病院の宿舎を避難場所に指定できないか提案したい。

健康保険証廃止に伴う混乱を さけるために

住民課長 国が決めた方針に従わざるを得ない



仲江 孝丸



9月議会



12月議会

●9月議会

質問 健康保険証が廃止

される2024年秋以降も一部の医療機関でマイナ保険証が利用できないので、氏名などが記載された文書を配布するという。現行の保険証を継続させる方がずっと合理的だ。

答弁 (住民課長) 確かに合理的だが、国が決めた方針に従わざるを得ない。

質問 6月の世論調査では国民の7割が「保険証を廃止するな」だった。

国に対して「もきちん」と意見を述べていくべき。

答弁 (町長) こういった課題を議会の中でご指摘

いただいているということとは申し上げていきたい。



質問 岸田首相は27年度の防衛費を9兆円にする

と軽く言うが財源はどこにあるのか。地方財政に必ずしわ寄せがくる。

答弁 (企画課長) 今回の予算は防衛費は増えているが地方交付税は減っていないので少し安どしている。

質問 町としても多言語看板の設置や翻訳機の使

用を推奨していく必要がある。

答弁 (産業課長) 役場の管理する観光看板は85箇所。うち多言語対応が65か所。名刺サイズの観光カードでQRコードを読み取って10か国語に変換できるものを来年度取り組む。

●12月議会

質問 現在、国保税を県

下で統一する取り組みが行われている。

答弁 (住民課長) 法律により、保険料水準の平準化等は県の必須事項とされ統一に向けたプランを策定した。12年度からは完全統一を目指すと思われる予定。

質問 「値上げを抑えるために努力している自治体」の意見として、一本化するなら県も値上げを

抑えるための負担をするように働きかけよ。独自の減免も必要。

答弁 (町長) 議員の指摘する論法は私も否定できない。努力をした町が安くなるのは当然で、高いところと一律にされるのはかなわない。首長の会議で話したい。

質問 菊池寛賞を受賞した「南海トラフ地震の真実」は「30年以内に70〜80%という南海トラフ地震の発生確率が、水増しされた数字であり、予算獲得などのために科学がゆがめられている状態を、丹念な取材で明らかにした」と評価されている。

答弁 (総務課長) 私も読んだ。詳細に調べた点は評価できるが、意図的に確率を高くしているという点は判断が難しい。

弾力的持続可能な財政基盤を維持するために

企画課長 基本条例作成などを検討



角 寛



9月議会

●9月議会

配布した資料は、財務状況主要指標等について実質公債費比率などの主要数を財政破綻したY市と当町とを比較・検証するために作成した旨説明する。

総務省主要財政指標各自治体の決算主要科目比較表

令和3年度	財政指数	経営収支率	実質公債費比率	将来負担比率	ラスパイルス
Y市(北海道)	0.20	118.9	68.3	274.0	89.3
K市(京都府)	0.81	94.8	11.8	170.4	101.0
Y市(県内)	0.81	91.5	9.6	107.7	99.2
T市(県内)	0.38	92.6	8.6	—	99.7
S市(県内)	0.36	91.4	13.3	15.8	97.2
和歌山県	0.32	86.9	7.7	194.6	99.5
串本町	0.26	90.3	11.2	78.6	94.4
都道府県平均値	0.5	87.3	10.1	160.3	99.1
全国市町村平均値	0.5	88.9	5.5	15.4	—
県内市町村平均値	0.35	98.9	8.8	53.9	96.1

質問 Y市が平成21年度に全国で初めて「財政再生団体」になった弊害、要因は。

答弁 (企画課長) 国の管理下におかれ地方自治権を返上され、市民の手数料などが引き上げられことにより、サービスの低下、急激な人口減少など招き、更に市の収入が減少するなど悪循環となっている。

質問 Y市が破綻した要因の一つは第3セクターによる議会の承認を得ないで且つ借入限度がない安易な資金調達したこと

が、一要因と思われるなかで、同組織である正味資産が10億円以上ある当町土地開発公社の決算が令和3年度からホームページに掲載されているが、留意事項など設けて町民

がより分かりやすい情報開示の方法を検討しては。

答弁 (企画課長) 理事会に、重要事項などに説明を加えることなどを諮問してより分かりやすい決算報告としたい。Y市が再生団体になった要因を補足すると、①首長への経営戦略に意見を言えなかった②議会等のチェック機能の甘さ、問題を先送りする体制③住民への情報開示不足により、けん制作用が働かなかったことが要因であると考えられる。

質問 県は毎年度借金返済額を示す公債費が、令和5年度717億円、令和14年度894億円と増加していく財政収支見通し、「**財政危機警報**」が出されたことによる同町の予算編成に対する影響

は。

答弁 (企画課長) 県の負担金、補助金、委託金は少なからず影響が出ると考えている。

質問 当町も財政が厳しい中で、不足部分を一般財源で補填せざるを得ないことから町独自の補助金等についての見直しは。

答弁 (企画課長) 県からの支出金に影響があれば、補助金等については、見直し(縮小)していかざるを得ないと考えている。

【その他】〈財政指数・経常収支比率との関係〉、〈統一基準による財務書類の分析と活用状況確認〉、〈町民にわかりやすい財政計画等作成のための基本条例作成〉を質問。

コミュニティバスの未来像は

町長 コミュニティバスで町民と観光客の足を確保する



吉村聡一郎



9月議会



12月議会

●9月議会

コミュニティバスについて

質問

コミュニティバスの将来的展望と、町が描く未来像を教えてください。

答弁

(町長) コミュニティ

バスの将来について、当町も他町の例にもれず高齢化が進んできています。もう、運転が限界であるというような方も、やはり自分の足が奪われてしまうと行動範囲が狭くなってしまいます。そう

ることによってその人が外出しなくなる。それが結局は要支援であったり、要介護になってしまうというようなことにもつながりますので、お年寄りにもできる限り外に出てもらうという町の福祉施策としても重要ではないかなと思っています。それともう一つ、観光客に使ってもらえるような環境を作っていくかなければならないと思っています。I C O C A の使用可など、町民の足と観光客の皆さん方の足を確保するという意味で、色々と来年に向けて協議を行っていきたいと思っています。るところです。

〈その他〉自主防災組織との連携について質問しました。

●12月議会

消防力の強化

質問

津波災害対応訓練の報告をお願いします。

答弁

(消防長) この訓練

の目的は、協議会を構成している15団体の機関同士が連携して年1回の訓練を実施することで最大の対応能力を向上させることを目的としております。

答弁

(町長) これだけの

機関が一つの地域に集約



されておるところはなかなかない。海上保安署、自衛隊があるということ、大変心強く思っております。ところであります。災害が起きたときの対応として、これからは幾度となくこういった連携をとった防災訓練をしていきたいと思っております。

〈その他〉町のイベント他2件について質問しました。



子育て支援策として給食無償化を問う

町長 こどもの安全、安心という位置づけの下、給食無償化を決断する



五十川清紀



9月議会



12月議会

●9月議会

①串本町産業振興と防災対策、②統合小学校建設等を質問

質問 高速道路は、20

25年春、串本町まで開通予定と同時に、串本IC周辺地域活性化施設のオープン予定で事業が進められたが、事業者決定に至らなかった問題は何か。

答弁（建設課長）町の負担が少ない定期借地権方式で、土地は無償でお貸しし、トイレ、駐車場、施設

等建設、維持管理を事業者で行う手法で提案した。

答弁（町長）最終一社残

ったが選考委員会の点数に至らなかった。今後PPP、PFIの手法も考えた。また、「道の駅の指定」について働きかけをしている。指定され支援を頂ければ負担も軽減できる。

質問 高速道活用による

防災対策で見直し等必要ではないか。

答弁（総務課長）県の浸水想定を基に国交省では

国道42号線すさみ串本間6割、串本太地間8割の津波による浸水を予測している。高速を一時避難場所、物資供給、医療救護体制確立、避難階段整備、県外町外への広域避難等、防災計画見直しを検討する。

●12月議会

①教育関連、②観光産業、③鳥獣害狩猟賃金アップについて質問。

質問 教育現場でのICT導入による業務の変化、教員の年齢格差での対応等はどうか。

答弁（教育次長）例えば、

宿題やプリントなどデジタル教材に変わること、印刷配付は省略され教員の業務量縮減。若い教員が多いため機器をうまく使い教員の資質向上につながることを期待。

答弁（教育長）今の学校教育は前例踏襲的な役割

分担でなく、お互いが支え合えるような教職員の関係性や同僚性を養うような学校の組織づくりが非常に必要。管理職の、特に校長先生のリーダーシップ、あるいは組織マネジメント力というのが求められる。ワーク・ライフ・バランスが確保される職場、働き方改革と同時に「働きがい改革」を求めていくような学校運営が大事。

質問 物価高騰で子育て

世帯の負担が増えている。串本町において給食無償化について町長は令和9年にと話されていたと記憶するが、ふるさと納税等税収が安定している今、来年度から給食無償化を前倒しての判断いただきたいと、議員同士が町長にお願いしようとなった。

答弁（町長）給食の無償化を考えていた。議員の皆さんの総意の下であると聞きしたので決断したい。いきなりすべてを行うことは財政上難しいため、翌年度が中学生、

令和7年度はこども園（上野山含む）、小学生として実施したい。



社会変化を把握した 行政の取組みを！

町長 難しいが一度現状社会の把握に取り組む



芝山定史



9月議会



12月議会

●9月議会

ライフラインの充実 (災害から学ぶ)

質問 停電の要因の一つに電線に枝が覆ってしま

う事があげられるのでは。

答弁 (建設課長) 昨年も

実施しましたが、町道に

おいて枝が繋り危険な箇所、

今後影響の出る箇所は、

関西電力と協議しながら

取組みたい。

質問 末端地区までの水道

管の耐震施工の現況と

今後の取組みは。

答弁 (水道課長) 水道に

ついては原則水道料金で

改修となる為、国、県等の補助メニューが少ない現状ですが、管路更新計画に基づき取り組んでいます。

危険箇所を優先・施工困難部分は災害時切り替え等が出来るような対策も実施している。



質問 越波による通行止め時、小型車だけでも新たな迂回路の設置を。

答弁 (建設課長) 一度調査検討してみるが、鬮野川線には通行するには結構危険な箇所もあり、

すさみ串本道路開通の方が

早い対応になるのではと

も考えている。

●12月議会

高齢化社会への課題と対策

質問 高齢化社会の問題

点と対策について。

答弁 (町長) 串本は、

ロケットを中心 to 今後の行政

政を考えていくのは順当

であると考えているが、高

齢化社会となり今までの行

政対応では、対応しきれ

ない部分も発生している

と考える。今一度社会の

変化に対応する行政施策

を考えていく。

質問 若者が喜びを持つ

て働けるまちづくりと6K

からの脱却への対応策は。

答弁 (産業課長) 旧3K

(危険・汚い・きつい)に

加え、新3K(帰れない・

厳しい・給料が安い)で

6K。若者の働きやすい環境に商工会等と協力し

て対応していく。



質問 物価高騰への各職種への対応は。

答弁 (建設課長) 公共単

価への対応は、県の調査

により対応している。最

近はコンクリート・ベニ

ヤ類等は月一度程度のペ

ースで公共単価を見直し

ている。

【まとめ】

9月議会においては、

記載以外においてライフ

ライン充実事項(台風7

号の反省から)、12月議

会においては、病院事業

管理者より医師、看護師、

介護士、介護福祉士等の

職務実態も質問した。

子育て世代の負担軽減で 教育投資

教育長 取り組める所は取り組む



水口 崇



9月議会



12月議会

● 9月・12月議会

新火葬場（町民のニーズ・時代のニーズ）

質問 テレビや新聞CMで

「小さなお葬式」。

価値観の変化。香典文
化が無くなり高額な葬儀
費用は個人負担となり安
価なお葬式が増えている。
直葬（病院から火葬場）、
一日葬（お通夜無し）等。
葬儀費用が心配で「死ぬ
に死ねない」。新火葬場
には故人が安心して旅立
てる、時代のニーズに合
った公営葬儀場、遺体安
置所を併設すべきである。

答弁（住民課長） 検討し
ていく。

回覧板

質問 時代遅れの回覧板

の回覧に高齢者等は苦勞
している。回覧せずに印
刷をすればいい。警察・
学校も役場で印刷をして
は。

答弁（総務課長） 警察・

学校とも話をする。



観光税（法定外税）

質問 立命館大学遠藤教

授「観光振興に限定せず
に、町のインフラ整備や
公共サービスの充実に充
てれば住民の理解も得や

すくなる。」

串本は白浜や那智勝浦
に挟まれて観光客の滞在
時間が短かく客単価が低
い観光地。ロケット打ち
上げは余韻に浸っても5
分程度。混雑をさけ我先
にと白浜や那智勝浦に。
ゴミと渋滞と経費は串本
町では困る。串本町は
『観光税』の先駆者。30
年前にダイビング振興に
議員が漁業協力金制定。
答弁（産業課長） 観光税
は考えてない。

教育格差

質問 町長公用車及び町

長・議員の昇給を急ぐよ
り学校給食の無償化を
急ぐべき（かつらぎ町・
紀の川市・すさみ以南串
本町以外・等は給食費無
料）。他町に比べ大きな
格差がでている。子育て

世代の負担軽減で教育投
資を増やし格差を是正す
べきである。

答弁（町長） 令和7年度

より給食の完全無償化。

問題もあるが取り組める
所は取り組んでいる。

財産区植林組合山林
立木売却に向けて町
が窓口になる準備と
対策

質問 植林組合の山林は

70年を過ぎ売却時期であ
るが、植林者の存在が分
からずに売却できない。
放置すれば荒れ果ててし
まう。木材需要がある今、
町が窓口となって売却を
進めるべきである。環境
譲与税・相続財産管理手
続等を駆使して。
答弁（総務課長） 勉強し
てまいりたい。

古座川に新橋は必要ないのでは

町長 古田区が反対なら町も橋は必要ないと明言する



清水健太郎



9月議会



12月議会

古座川新橋計画について

質問 古座川町高池地区から串本町古田地区に橋を架ける計画があり、既に24億円の予算がついている。この事業は古座川町が要望したと聞いているが、古田区には一言も説明がないまま予算がついていた。なぜ古田区に説明しなかったのか。

答弁（建設課長） 事業内容について当町に具体的な説明が無かった。

質問 橋を架けるのに、

一方だけで決めて相手方に何の説明もしないなど通常は起こり得ない。串本町は今すぐ抗議すべきだ。

答弁（町長） 古田地区の皆様が橋は必要ないと、御意見がまとまれば串本町は古田地区と共に、橋は必要ないと明言する。

質問 橋を架けると水位が上がって氾濫の危険が増える。利便性を考えると、橋があるのと、橋がなくて、河内橋を回ると距離的にたった900mの差である。合理的に考えるとこの橋は要らない。古田区では反対の声が圧倒的であった。古座川町においても反対の声が大半を占めていると聞いている。この橋はそもそも古座川町の住民の要

望で決まったのではないそうです。

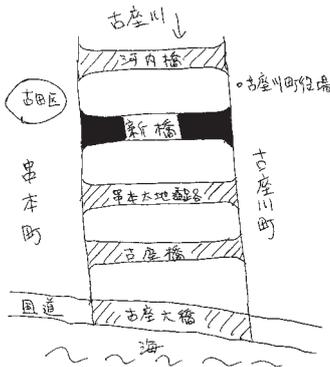
古座川町の住民の方も、事業化が決定してからチラシで初めて知ったというところで、古座川町の方も非常に驚いていた。

串本町は、この橋の必要性についてどう考えているか。

答弁（建設課長） 必要性と言いますと、今、清水議員が仰って頂いたそのままのものかなと思う。

質問 串本町独自で火葬

火葬場について



場を建設するのと古座川町の火葬場を使わせていただくのと経済的負担の比較は？

答弁（住民課長） 新設した場合、建設費約6億円、30年間、年間1225万円の負担。古座川町立斎場を利用した場合2081万円の負担となる。

質問 1週間くらい前に私は（この経済的比較を）聞いたが、数字が先走るからと言って、答えなかった。資料も議案審議の時に出してないのがオカシイ。

数億円もする大きな事業の経済的負担について全く答えずに予算を通している。

答弁（副町長） 議会と相談している。

令和5年度 東牟婁郡町村議会議長会 全議員研修会

令和5年10月4日(水)

「スポーツツーリズムによる地域活性化」をテーマに、スポーツコミッションの事例を通じて、スポーツを活用したまちづくりや交流促進、地域における消費の促進などについて学びました。ジップラインなどは当町でも実施・運用できるのではないかと思います。積極的に調査研究していきます。



南紀熊野ジオパーク東牟婁議員連盟協議会 令和5年度研修会

令和5年10月11日(水)

ガイドによる解説を聞きながら、古座川町のジオサイトを視察しました。



和歌山県町村議会議長会 委員長・副委員長研修会

令和5年10月24日(火)

「委員会の組織と運営」を議題とし、委員会の基礎と、正副委員長の職務・権限を学びました。委員会運営の重要性を理解し、身が引き締まる思いでした。



(株) USPジャパン

ロケット発射場を軸とした 町民参加による観光資源開発造成事業

(株) USPジャパンは東京に本社があり、事業戦略の立案・新規事業開発・マーケティング・商品開発などを手がけており、旧古座分庁舎にある古座サテライトオフィス内に和歌山オフィスを開設しています。

和歌山オフィスは「スペースポート紀伊」建設に伴い、「海と宇宙につながる串本町」を支援、学校・地域でのワークショップ開催。JAXA、スペースワン等とのコラボレーションを推進。人気コミック『宇宙兄弟』とのパートナーシップにより、地域事業の活性化を図るとともに、国内外への情報発信強化をサポートしています。



最近作成した応援グッズ



左から久穂さん、八代さん、朱蟹さん

和歌山オフィスで働く4名の職員のうち現在、有本千秋さんが産休中のため、久穂拓也さん・八代popi奈穂子さん・朱蟹あかにさんにお話を聞きました。

橋爪 それぞれの自己紹介をお願いします。

久穂 東京出身。もともと工業デザインや建築専門ですが、現在は地元産土産の開発や販売を手がけています。

朱蟹 串本生まれ串本育ちで美術大学を卒業後この会社に就職しました。映像の編集やチラシ・ポストカードの作成をしています。広報担当です。

八代 串本出身で東京で会社の経理やバンド活動をしていました。地域の魅力をいかに皆様にお届けできるか日々格闘中です。

仲江 この会社の特徴についてお話ししてください。

久穂 目標に向かって何ができるか、理解共感できる人が集まって作られた会社です。出来る事から仕事を始めていけるのが他の会社にはない魅力です。

橋爪・仲江 新しい視点でこの町の可能性を開拓してください。期待しています。



■ USPジャパンHP：<https://www.usp.co.jp/>

議会の動き

《本会議》

9月 6日～ 9月22日 第3回定例会
12月 1日～ 12月15日 第4回定例会

《委員会》

【常任委員会】

●総務産業建設常任委員会

9月 6日・9月 21日・11月 9日・
12月 1日・1月 11日

●文教厚生常任委員会

8月 22日・ 9月 6日・9月 29日・
11月 9日・12月 4日

【議会運営委員会】

8月 30日・ 9月 20日・9月 22日・
11月 17日・12月 13日・1月 17日

【特別委員会】

●議員定数に関する特別委員会

8月 3日・8月 21日・9月 7日・
9月 14日・1月 19日

●議会広報広聴特別委員会

8月 8日・12月 14日・1月 26日

●決算審査特別委員会

9月 14日・10月 17日・10月 18日・
10月 19日・10月 23日・10月 25日

●懲罰特別委員会

9月 22日・11月 16日

【全員協議会】

8月 3日・12月 15日

【研修会等】

8月 4日 和歌山県町村議会 全議員研修会

10月 4日 東牟婁郡町村議会議長会 全議員研修会

10月 11日 南紀熊野ジオパーク東牟婁議員連盟協議会
研修会

10月 24日 和歌山県町村議会議長会 委員長・
副委員長研修会

議長 公務日誌 (令和5年8月～令和5年12月 主なもの)

8月

- 2日 令和5年度近畿自動車道紀勢線すさみ・那智勝浦間建設促進協議会総会（串本町役場）
令和5年度国道42号（田辺～新宮）改良促進協議会総会（串本町役場）
- 4日 令和5年度和歌山県町村議会全議員研修会（那智勝浦町）
- 5日 串本総おどり出発式（串本町文化センター）

9月

- 1日 土地開発公社理事会（串本町役場）
- 16日 エルトゥールル号追悼式典（樫野崎 エルトゥールル号慰霊碑前）

10月

- 11日 南紀熊野ジオパーク東牟婁議員連盟協議会令和5年度研修会（古座川町）
- 29日 第19回 串本町町民大運動会（串本町総合運動公園）

11月

- 2日 まち・ひと・しごと創生会議（串本町役場）
- 9日 令和5年度火災予防パレード
- 11日 古座地区戦没者慰霊祭（善照寺）
- 28日 第67回議長全国大会（東京都 NHKホール）
- 29日 //
- 30日 //

12月

- 2日 第24回本州最南端串本グラウンド・ゴルフ交歓大会（串本町総合運動公園）
- 8日 第4回串本町地域公共交通活性化協議会（串本町役場）



第37号発行から4号目となり、見やすくなった、字が大きく簡潔になった等、ご意見をいただいているところであります。
議会だよりは、皆様と議会の「接点の場」と考え、できる限りの報告と更なるご意見等頂きながら構成していこうと思っております。委員一同頑張りますので、ご一読よろしくお願ひします。

